

学校・保護者・地域をつなぐ…

# うてよびびけよ 鼓中通信

第19号

「来てよかった、明日も来たい」学校を目指して  
令和6年2月9日

鈴鹿市立鼓ヶ浦中学校  
☎059-386-5852

## 気持ちのよい挨拶から始めよう！！

「おはようございます」「こんにちは」「さようなら」…社会に出れば、「お世話になります」「お疲れさまでした」…など様々な場面であいさつの種類は増えていきます。大人でも子どもでも、誰でも交わすことのあるあいさつですが、なぜか上手にできる人が減ってきたように感じます。

あいさつとは、仏教の禅宗で使用されていた「一挨拶（いちあいいっさつ）」、つまり「一つ押して一つ迫る」という意味の禅の言葉をあてはめたとされています。この禅語の「挨拶」を漢文の読み下し文にすると、「挨拶（たたく）」「挨拶（ひらく）」となります。つまり、心のドアをトントントノックして開けるという意味です。

さて、あなたは気持ちの良い挨拶ができる人ですか？

気持ちのよいあいさつとは…

スマイル(にこやかに) アイコンタクト(相手を見て)  
クリアボイス(はっきりと) レスポンス(必ず返して)



あいさつはしているけれどもごもご聞こえない、自分からはできない…などは、気持ちが良いとは言えません。気持ちの良いあいさつのできる人は、信頼される人です。なぜなら、気持ちの良いあいさつには、相手に対して親愛や尊敬などに気持ちがこめられているからです。そんな心づかいのできる人だからです。気持ちの良いあいさつをされたら、だれでもうれしいですね。また、あいさつをしたときに、向こうからも同様に返ってきたら、またまたうれしいですね。いい人だなあっと感じます。場面に適した、礼にかなった気持ちの良いあいさつが自然にできる人になってほしいと思います。どんな人でありたいかは自分が決めます。まずは、自分から！！

## ◆新入生説明会が行われました！！ 1月17日(水)



早いもので、来年度の準備が着々と進んでいます。来年度は、120～130名の新入生を迎えることとなります。

校区の6年生と保護者の皆さんに向けて、生徒会から学校生活について、教育支援課の橋本先生から、中学生になることへの心構えと、親の在り方について、お話をいただきました。



## 鈴鹿市スポーツ協会による出前教室開催 1月31日(水)

運動の得意な人もそうでない人も、楽しんでスポーツに親しもう…という趣旨のもと、HONDA の硬式野球クラブチームの皆さんに来ていただき、2年生各クラスごとに、野球の授業が行われました。ニックネームでの自己紹介があった後、8名のプロの野球選手の方たちの指導の



下、体育の授業とは一味違うグループ対抗トレーニングに参加し、盛り上がった充実したひと時を過ごしました。最後は記念撮影とハイタッチでお別れでした。放課後は部活動にも参加してもらい、生徒たちの目が輝いていました。

刺激的な出会いの1日となったことと思います。

とても格好いい言葉です。1年生の廊下に掲示してあります。似たような言葉に「有言実行」がありますが、この言葉をもじって作られた言葉だそうです。それよりはるかに格好いいです。

『あれこれ理屈をつけずやるべきことを黙々と実行する』という意味ですね。

私が中学3年生の時、じりじりと熱い日が照っている中、運動場で担任の先生が背中を丸めて、黙々と草抜きをしていた後ろ姿が目に焼き付いています。

不言実行

それを見て、自分も黙って目の前の作業に没頭し、終わった後の爽快感を楽しんでいた記憶があります。特に達成感のあるトイレ掃除が好きでした。

黙々と掃除をしている生徒がいます。みんなのためにという思いもあるでしょうが、『掃除は自分のために

ある時間』なのだと思います。黙々と作業を行い、自分の心を整えてみましょう。



## 学習支援ボランティアさんに応援していただいています！！



3学期から、1年生の家庭科、社会、理科の授業で、おもに実習・実験支援として地域ボランティアさんの皆さんにお世話になっています。授業によっては、たくさんの手や目があること、声をかけてもらうことで、学習がはかどっています。感謝。

